

心つないで福祉のまちへ

でん

No.59

清須市社協だより

令和3年6月1日発行

<http://www.kiyosu-shakyo.com/>

- 特集「コロナ禍でも前向きに暮らすために」 2・3
- 会員募集のご案内 4
- 事業計画・収支予算 5
- 地域包括支援センターだより 6・7
- ボランティア情報 8・9
- HPリニューアルのお知らせ/清須市社協のSNS!!/福祉活動応援企業広告... 10
- 西枇杷島地区協議体のご案内/家事サポーターDVD ... 11
- 募金箱コンテストのお知らせ/食品配布会開催のご案内/フードドライブBOX... 12
- 買い物アンケート報告/映画「星に語りて」無料上映会のお知らせ... 13
- きよす障害者就労継続支援センター飛鳥作業紹介/川柳紹介 ... 14
- 教えてください！あなたの地域貢献活動 15
- 川柳応募・寄附の紹介・編集後記等 16

この広報誌は、皆様からお寄せいただいた赤い羽根共同募金の配分金、清須市社会福祉協議会の会費によって作成しています。



デイサービスセンター清須・きよす障害者就労継続支援センター飛鳥の利用者のみなさん

コロナ禍でも前向きに暮らすために

特集

人と会う機会が減ったり、生活に不安を抱えたり、新型コロナウイルスは、私たちの日常に様々な形で影響を与えています。今回は、困りごとや不安を少しでも解消して、日々を前向きに過ごすためのヒントをご紹介します。

コロナ禍の困りごとに対して
社協各担当者よりお伝えします。

コロナ禍で生活費が減少してしまったら

長期にわたる新型コロナウイルスの影響で休業や失業に追い込まれている人も少なくありません。収入の減少により生活に困窮する世帯に対し、国では生活資金の貸し付けを行っており、社会福祉協議会がその窓口となっています。

生活福祉資金特例貸付

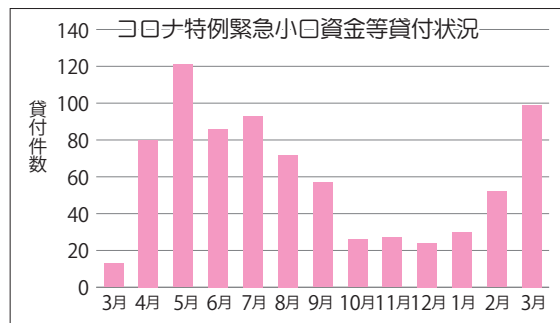
6月末日まで（令和3年4月15日現在。実施状況詳細は愛知県社会福祉協議会 HP をご確認ください。）

○緊急小口資金

新型コロナウイルスの影響で仕事が減り、収入が減少した方に、一時的な生計維持のための生活費をお貸しします。

○総合支援資金

新型コロナウイルスの影響で仕事が減り、収入減少の期間が長期にわたる方に、生活を立て直す期間（3か月）の生活費をお貸しします。



令和2年3月25日～令和3年3月31日

清須市でも1回目の緊急事態宣言後から貸付件数が増加しています。

地域福祉係担当者より

貸付相談は、郵送受付にせず窓口対応を基本として、特例貸付以外の制度や相談窓口の周知、食料支援につなぐようにしました。長引くコロナ禍の中で、相談者の生活を考えながら、今後の生活について一緒に考えていきたいと思っております。生活の困りごとがありましたら、ご相談ください。

コロナ禍でも高齢者の方がいきいきと過ごすために

新型コロナウイルス感染を予防するため、外出を控え自宅に閉じこもる高齢者が増えています。それにより「足腰が弱った、体力がなくなってきた」「認知症が心配」「鬱かもしれない」「通院を控えたら病状が悪化してきた」などの相談が、地域包括支援センターに数多く寄せられるようになりました。

今まで当たり前として行っていたことや日課としていたことができなくなると、自立した生活を送っていた人でも、要介護状態になる恐れがあります。心と体の機能を衰えさせないよう、生活を見直してみましよう。



介護予防のヒント

- 感染対策をして外出をする。地域のボランティアを手伝うなど積極的に社会参加を。
- 座っている時間を減らし、家の中でもこまめに体を動かす
- 食事は三食。よく噛んでしっかり栄養を摂る。
- 家族や友人と交流を。電話をしたり、スマートフォンやパソコンで顔を見ながら会話するのもおすすめ。

地域包括支援センター担当者より

感染対策を行いながら外出することや、リハビリのご提案をしていますが、コロナはもちろん、筋力低下などから外出への不安が大きいように感じます。コロナ禍でも介護予防ができるよう、介護予防のヒントとなる各種パンフレットを配布してセルフケアに努めていただいています。介護予防について、もっと詳しく知りたい方は、地域包括支援センターへご相談ください。（P6・7参照）

コロナ禍を前向きに過ごされている 様々な立場の方々にお話をうかがいました。

視覚障がい者の立場から



森 美和子さん
(視覚障害者当事者団体「ほのぼのリンク」代表)

「コロナ禍」で特に変化があったのは、買い物の場面です。たとえば、視覚障がい者がスーパーで買い物をする時、野菜や果物の大きさ、形、鮮度などは触って確かめていましたが、商品を触ること自体を皆が避けていること最近は、「今まで通りの買い物」ができず困っています。また、外出時は常に介助者の寄り添いのもと移動しているので、「ソーシャルディスタンス」をどうしても守れず、人目が気になることです。

困りごとや暗い話題が多いコロナ禍ですが、この事態を契機に、最近は、便利なICT機器の活用に積極的に目を向けるようになりました。スマートフォンの色識別アプリや、日常のお願いごとを高度に認識するAIを使ってみたりと、こんな時だからこそ前向きに生活していこうと、日々思っています。

ボランティアの立場から



柴山 喜美子さん

～土田ブロックの活動「お元気ですか」～

土田の町内では、30年以上、茶話会や小物作りなど様々な活動による「集まりの場」づくりが継続されてきました。それがここ1年コロナ禍の影響を受けて止む無くストップ。今までにない変化に私たちは戸惑い、サロンに参加していた住民も皆に会えない寂しさを募らせていました。そこで土田ブロック社協として「お元気ですか」による訪問活動を実施。高齢者宅を訪問し、お菓子の手土産を渡し、近隣の人同士が数人集まり記念撮影を行いました。写真を撮ることを事前に伝えていたので、やはり皆さんオシャレをして出てこられました。久しぶりに人前に入る刺激を感じ、いきいきとしてもらったのかもしれない。何かと不自由の多い日々かもしれませんが、今後も工夫して地域の活動ができるように頑張っていきたいです。

高齢者の立場から



中西 憲雄さん

「今はグリーンピース、じゃがいも、たまねぎなどを作ってます!!」

コロナ禍で私の日常生活には様々な変化がありました。日課であった福祉センターの入浴や、楽しみであった健康マージャンが中止となり外出の機会が減ったこと。また、友人と会う機会も減り「寂しい・悲しい」という気持ちが強くなりました。

そんな毎日ですが、入浴施設を自分で探し、友人を誘うことで交流を続けたり、毎日畑を手入れして採れた野菜を家族に届け定期的に家族と会ったりと、工夫して前向きに暮らすよう日々考えています。

終わりに、「コロナ禍を少しでも前向きにしたい」という願いから、清須市社協市民活動ボランティアセンター登録団体により作られた「コロナ退散SONG」をお届けします。

(作詞・作曲「キヨスジャズクラブ」代表久米 理一郎 演奏・歌「キヨスジャズクラブ」「音楽サークルべんてん」)



QRコードより、清須市社協 Facebook にアクセスしてください。

令和3年度

社会福祉法人 清須市社会福祉協議会

会員募集のご案内

「住み慣れたまちで安心して暮らしていきたい」、これは誰しもが願っている事です。

清須市社会福祉協議会では、「私たち一人ひとりが自分らしく安心して暮らせる福祉のまちづくり」を理念に掲げ、地域での福祉活動の推進を行っています。

こうした活動を進める上で、地域住民の皆様のご理解と、活動へのご参加は欠かせないものです。

清須市社会福祉協議会では、この福祉活動にご参加いただける方法の一つとして、「会員制度」を設けております。趣旨にご賛同の上、「社協会員」としてご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

会員制度とは

「会員制度」とは、清須市社会福祉協議会の趣旨に賛同する「会員」を広く募集し、会員からお寄せいただいた「会費」を財源に、様々な福祉事業やボランティア活動の支援を行い、「福祉のまちづくり」を推進する一連のしくみです。

会費の金額

個人会費 1口 500円 (年額)

※世帯ではなく、個人に呼びかけをしています。

※1口以上で、何口でもご加入いただけます。

募集期間

7月1日から7月31日まで

募集方法

ブロックを通じてお住まいの自治会へ取りまとめを依頼しています。

※この会員募集は強制ではありません。

一人ひとりが、少しずつ力を出し合って助け合いましょうという趣旨で行っております。

法人会員募集について

新型コロナウイルスの感染拡大の影響による諸般の事情を鑑み、昨年同様、訪問による依頼をご遠慮させていただき、郵送にてご依頼させていただきます。

ご協力いただけます法人様におかれましては、お振り込み若しくはご連絡いただければ職員がお伺いさせていただきます。

お問い合わせ先 ● 社会福祉法人 清須市社会福祉協議会
〒452-0931 清須市一場古城 604-15 (清洲総合福祉センター内)
☎ 401-0031 [FAX]:401-0032 ✉:info@kiyosu-shakyo.com
[URL]: http://www.kiyosu-shakyo.com/

令和3年度の社協会費は次の事業に使われます。

地域の支え合い活動のために

ブロック社協事業の実施

小地域(ブロック単位)で福祉活動が実践できるように組織作り・活動の支援、助成を行います。

ボランティア活動の支援

市民活動、ボランティア活動に関する相談支援、活動の紹介、活動場所や資機材、情報の提供、助成等を通じ、市民のボランティア活動参加の促進や活動支援を行います。

災害ボランティアセンター設置・運営体制の整備

災害が発生した際に、被災者とボランティアの橋渡し役となる災害ボランティアコーディネーターの育成と、災害ボランティアセンターの体制整備を行います。

子どもの福祉

次世代の地域福祉を担うジュニア世代が、福祉への理解を深め、市内のボランティア文化を育む為、市内の小中高校と連携を図りながら、子どもたちが福祉・ボランティア等について学ぶ場づくりを行います。

地域の福祉活動の仕組み作りのために

部会開催

地域福祉・発展強化・災害対策の各部会を設置・運営し、社協の経営方針及び事業方針を検討するとともに、新規事業の検討や既存事業の見直し等を行います。

市民活動ボランティアセンター運営委員会

ボランティア・市民活動に参加しやすい環境の整備とボランティアセンター機能の充実・強化を図るために運営委員会を開催します。

総合計画進行管理・評価

清須市社協の第4次総合計画について、進捗状況の管理と適正に評価を行う仕組みを検討するとともに、次年度に向けた事業検討を行います。

法人運営事務費・会員募集事務費

社協が法人として継続していくための運営業務を行います。福祉活動に参加していただく方法の一つとして、会員募集事業を行います。

福祉情報の発信のために

社協だより「てとて」の発行

市民参加により作成した福祉に関する情報誌を年3回全戸配布として発行し、福祉情報をより広くお伝えします。

啓発資料の作成

社協の活動を広くPRし、福祉活動への参加を促すため、啓発資料を作成し配布します。

安心して暮らすために

無料法律相談の実施

弁護士による無料法律相談所を開設し、市民のくらしの相談に応じます。

成年後見センターの受託に向けた調査・研究

判断能力が十分ではない方の生活を支援するために、成年後見支援センターの機能や役割について調査・研究し、成年後見をサポートする仕組みづくりを検討します。

令和3年度事業計画

地域福祉活動計画関連

- ① 身近な地域での支え合い
コロナ禍におけるブロック社協のあり方の研究、感染防止対策を講じた福祉出前講座の実施、地域福祉活動の情報集約と発信、福祉活動マップの作成、企業の社会貢献活動と福祉活動のマッチング、災害ボランティアコーディネーター連絡会などの関係者とブロック社協関係者とのつながり作り、フードドライブ事業の充実
- ② 市民が活躍できる町
特技を生かしたボランティア活動の推進、ボランティアに関するアンケート調査、ボランティア活動の情報発信、当事者活動の支援、社会貢献活動の新たな取り組みの提案
- ③ 共に生きる力を育む
ブロック社協や企業に向けた福祉出前講座や啓発事業の実施、小・中・高・専門学校・短期大学など対象者別の福祉教育プログラムの開発
- ④ 気軽に相談できる体制づくり
相談窓口と担当職員の見直し、職員の相談援助技術の向上、地域の専門職や相談窓口との情報交換、連携強化
- ⑤ 権利擁護体制の強化
多方面の職種との関係づくり、専門職スキルの向上、多職種参加の事例検討会の実施、成年後見制度利用支援に向けての相談環境を整備

発展強化計画関連

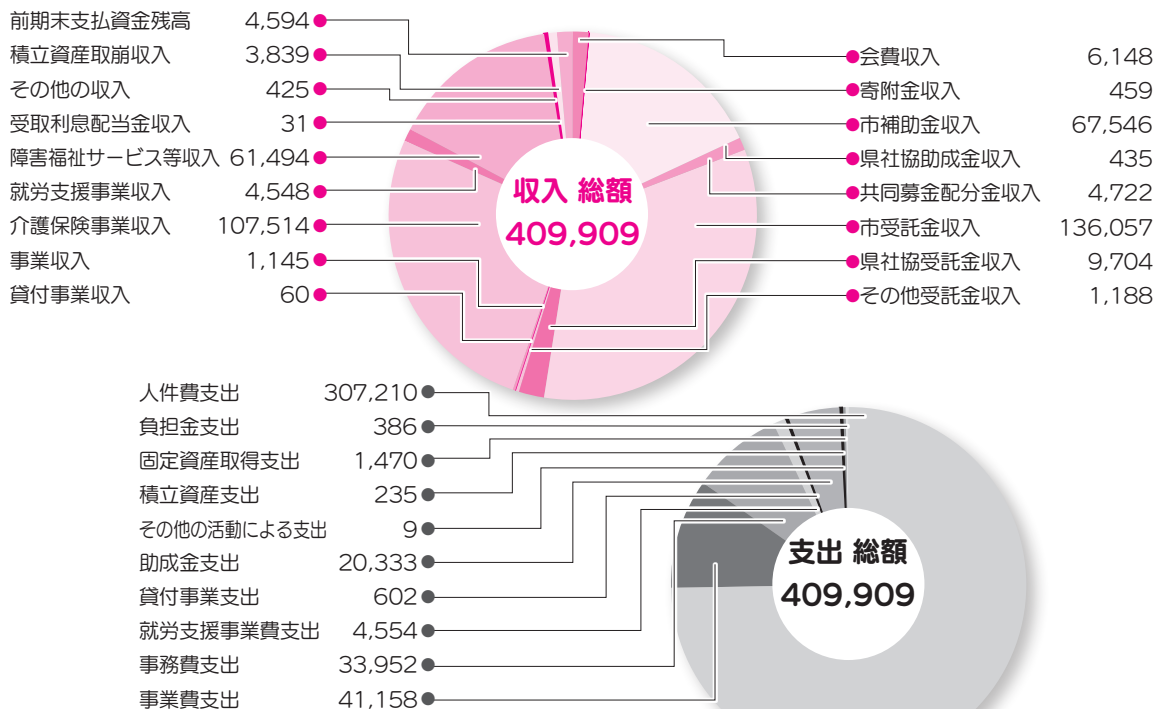
- ① 役職員の共通理解と職員育成
課題解決に向けた部会等での協議、資格取得の推進、人事評価制度の継続、障害者雇用の促進、ワークライフバランスの視点による働きやすい環境整備
- ② 多様なニーズへの対応
市民ニーズに基づいた制度外サービスの開発、リスクマネジメントの強化、適切なサービス提供のための専門性の向上
- ③ 市民との情報交換
広報媒体の活用について総合的に検討、SNS等を活用し利用者・家族への情報提供、アウトリーチによる相談対応
- ④ 継続した事業運営のための財源の確保
補助事業・委託事業の内容に見合う適正人員の検討、新たな補助事業・委託事業の実施、パナー広告・社協だより広告収入の確保、新たな財源確保手段の研究
- ⑤ 法人基盤の構築
改正社会福祉法による財務状況等の公表、コンプライアンスに関する研修と取り組みの強化、無料・低額の福祉サービスを提供する公益的な取り組みの実施
- ⑥ 利用者保護の体制整備
サービス提供・苦情対応に対する研修の継続実施、ヒヤリハットなどの職員間での情報共有の徹底、新型コロナウイルス感染防止と健康増進対策の推進、安全運転管理の徹底による交通災害の防止

災害対策関連

- ① 災害からいち早く復旧できる組織づくり
事業継続計画（BCP）の更新と緊急時の即時対応を徹底、各部署で役割分担するべき共通事項の整理
- ② 災害発生時の緊急対策の整備
事業継続計画（BCP）を中心とした災害対策の理解、平常時からの訓練、他機関との連絡調整を強化
- ③ 市民生活の復興支援
防災訓練を通じた関係機関との連携、平時からの連携強化、災害ボランティアコーディネーターの育成、ブロック社協を中心とした防災訓練等の啓発

令和3年度資金収支予算

(単位：千円)



地域包括支援センターだより

地域包括支援センターとは？

- ☆高齢者の方が、住み慣れた環境の中で暮らし続けるための総合相談窓口です。
- ☆主任ケアマネジャー、社会福祉士、保健師（看護師）などが中心となって高齢者の支援を行います。
- ☆相談内容についての秘密は固く守ります。
- ☆相談は無料です。



令和3年 家族介護者交流事業年間予定

ご自宅で生活されているご家族、介護者の方々、ボランティアの方々の交流、学習するために開催します。お悩みの相談、情報交換、リフレッシュのために美味しいコーヒーなどを飲みながらおしゃべりしませんか？

お気軽にご参加ください。



	場所	日にち
家族介護者交流カフェ & オレンジカフェ ※申込不要・参加費無料 ※時間は全て 13時30分～15時です	清洲総合福祉センター 第5会議室	・6月17日(木) ・8月19日(木) ・12月16日(木)
	にしびさわやかプラザ 1階 会議室	・7月28日(水) ・9月29日(水)
	新川福祉センター 2階 集会室	・10月21日(木) ・11月25日(木) ・R4年2月17日(木)
	春日老人福祉センター 第4会議室	・R4年1月19日(水) ・R4年3月16日(水)
介護講座① 「家庭介護を担う人の 心構え」 ※要申込 下記参照・参加費無料	清洲総合福祉センター 第2・3会議室	7月13日(火) 10時～正午
介護講座② 「知っておきたい高齢者の 排泄トラブル」 ※要申込 下記参照・参加費無料		9月8日(水) 10時～正午
リフレッシュ事業	調整中	11月中旬 9時30分～15時

申込・問合せ 清須市地域包括支援センター

☎ (052)409-9010 [FAX] (052)401-0032

✉ houkatsu@kiyosu-shakyo.com

新型コロナウイルス感染拡大の影響が1年以上となり、心身共に落ち込んでいませんか？

高齢になって心身の活力（筋力、認知機能、社会とのつながりなど）が低下した状態を「フレイル（虚弱）」と言います。筋力などの身体機能の低下より先に、社会参加など他者との交流が減ったり、口の機能が衰えること（オーラルフレイル）から始まります。

今年度は「オーラルフレイル」について連載でお知らせしていきます。

「オーラルフレイル」って何？

口に関する“ささいな衰え”が軽視されないように、口の機能低下、食べる機能の障害、さらには心身の機能低下までつながる“負の連鎖”に警鐘を鳴らした概念です。

オーラルフレイルの進行例

前フレイル期

- 口や歯への関心を失う
- 歯周病などで歯を失う
- 活動量が減る



歯を失うことで、閉じこもりぎみになる

オーラルフレイル期

- 口や舌の動きが悪くなる
- かめない食品が増える
- 食べこぼしやむせが増える



食欲低下や栄養の偏りを招く

サルコペニア・ロコモ期

- かむ力が減る
- 舌の運動力が減る
- 食べる量が減る



低栄養、サルコペニア^{※1}、ロコモ^{※2}を招く

フレイル期

- 食べたり飲みこんだりすることが困難になる
- 誤嚥性肺炎を起こす



フレイルや要介護状態に

口腔ケア、
※10月号ではチェック方法を
食生活の改善などで、
予防・回復が可能です。

※1 サルコペニア：加齢にともなって筋肉の量や筋力が減少し体の機能が衰えた状態

※2 ロコモ（ロコモティブシンドローム）：足腰の関節や筋力が弱まり要介護の危険が高まった状態

資料提供：西春日井歯科医師会

ボランティア情報

高次脳機能障害者の会きよす

心・悩みわかちあい

高次脳機能障害を ご存知ですか？

参加者
募集

ケガや病気による脳の損傷が原因で、ふたつのことを同時に行くと混乱すること、また、家族や職場の仲間とのコミュニケーションの取りづらさなど、日常生活における様々な症状があらわれます。

清須市内で、同じ症状に悩む当事者又はそのご家族との交流や情報共有、気持ちを共有する場所づくりを目的にお部屋を開き、自由にお話し、ゆっくり出来る場所を目指していますので、ぜひ、お気軽にお出かけください。

日時 ● 6/16(水)・7/21(水)・8/18(水)・9/15(水)
(開室時間は 13 時 30 分～ 15 時 です。)

会場 ● 清洲総合福祉センター 2 階 第4会議室

参加費 ● 無料

申込 ● 不要

問合せ ● 個人ボランティア 田中

☎ (052) 409 - 3263

子育て心理学講習会

参加者
募集

「もっと早く知りたかった！」と心から思った子育てに役立つ心理学をお伝えします。

心理学には親も子どもも元気になれる工夫や、日常の困ったを解決するヒントがたくさんあります。

専門用語はできるだけ使わず、初めての方にも学んだその日から使える知識をお届けします。

①『応用行動分析から学ぶ いいことだらけの褒める子育て』

日時 ● 6月25日(金) 10時～正午

会場 ● 清洲総合福祉センター 2階 第4会議室

②『怒りのコントロール方法』

日時 ● 7月9日(金) 10時～正午

会場 ● 清洲総合福祉センター 2階 ボランティアルーム

持ち物 ● 筆記用具(マスクをご着用ください。)

参加費 ● 100円(資料費のみ)

定員 ● 10名

申込 ● どちらとも、前日までに下記連絡先までご連絡ください

問合せ ● 子育ておこまりさんコミュニティ にこらば
岡田(☐nicolab.sodate@gmail.com)

家庭文庫「どんぐり小屋」

親子で絵本や児童書を たのしみませんか！

家庭文庫とは、「おうちの図書館」です。絵本や児童書が約 3000 冊、子育て関連の本もあります。

会員登録をすれば、1人5冊まで一ヶ月借りられます。お気軽にお立ち寄りください。

日時 ● 毎週木曜日(祝日休)
(本の整理のためお休みもあります。)
15時30分～17時30分

会員登録 ● お一人 年間 100円

場所 ● 清須市土田三丁目 17-8
(高島公園南側、目の前にあります。)

問合せ ● 家庭文庫どんぐり小屋

☎ (052) 409-7830 久原

音楽サークルべんてん

「音楽でひとつに」をモットーに清須市を拠点に活動しています！どうぞよろしくお願いたします！

沖縄三線での沖縄民謡・ポップス・童謡・昭和歌謡から最新のヒット曲まで幅広いジャンルで、高齢者施設・障害者施設・各種イベントでライブしています♪



べんてんサロン開催中！

毎月ミニライブとお茶会。月替わりで楽器を弾いてみたり、絵を描いたり、べんてんと楽しく過ごしませんか？

参加者
募集

今後の予定

6月11日(金) 13時30分～15時30分

7月 9日(金) 13時30分～15時30分

9月24日(金) 13時30分～15時30分

10月22日(金) 13時30分～15時30分

参加費 ● 300円(材料費・お茶代)

※感染対策をして行います。検温・消毒・ソーシャルディスタンスにご協力ください。

場所 ● 清洲総合福祉センター

定員 ● 10名

連絡先 ● ☐info@rita3.com

ボランティア情報

ほのぼのリンク (視覚障害者のつどい)

参加者
募集

目に障害があることで、情報が入りにくい、外出の機会が少ない、人とのコミュニケーションの機会がないなど同じ障害を持つ人たちが集まって、お互いに情報交換したり、助け合ったりする会をつくっていきたいと思います。家に閉じこもらずに、一緒に活動しませんか？

※視覚障害者のためのボランティアさんも併せて募集します。

視覚障害者支援にご協力いただける方は、ぜひご参加ください。

日時 ● 毎月第3月曜日 (9月・3月は第1月曜日)
10時～11時30分

会場 ● 清洲総合福祉センター 2階 第5会議室

申込 ● 不要

○発起人：森 美和子 (助七在住)
佐藤 町子 (廻間在住)

○協力：総務地域課
地域福祉係
☎ (052)401-0031

何も出来ない。ではなく、自分から進んでやる事が大切だと思います。色々な事に挑戦してみませんか？ぜひお越しください。待ってます。

(P.3に関連記事あり)

私たち 災害ボランティア コーディネーター連絡会です!

会員
募集

私たち「清須市災害ボランティアコーディネーター連絡会」は、清須市が被災した場合に、ボランティアの方々および人手による復興支援を必要とする方々の受付窓口となる「災害ボランティアセンター」の立ち上げ準備を行なっているグループです。

令和3年度もコロナ禍、清須市内『さくらまつり』中止。人と人が会えない中でも、心と心の繋がりや輪だけは守りたい。仕事でも在宅勤務やリモート会議が増える中、災害時のボランティア活動のあり方も変わろうとしています。もし清須市が災害に見舞われ、災害ボランティアセンター設置、ボランティア募集が行われた場合、今まで通りの『ボランティア受付』だけでなく、WEB受付『ボランティア事前登録申込』を併用した形へ。日々私たちも今を対応すべく変わろうとしています。

そんな私たちの活動内容はQRコードからFacebook『清須市災害ボランティアコーディネーター連絡会』にて確認することができます。この記事を読んでくださったあなたも一緒に活動してみませんか？会員一同お待ちしております。



ボランティア活動保険

ボランティア活動中(往復途上を含む)のケガや他人への損害を補償するボランティア活動保険です。ボランティア活動者の方、これから始められる方は、是非ご加入ください。

	保険金の種類	補償内容		
		Aプラン	Bプラン	Cプラン
傷害事故	死亡保険金	620万円	840万円	1,230万円
	後遺障害保険金	後遺障害の程度に応じて、死亡・後遺障害保険金額の100%～42%をお支払いします。		
	入院保険金日額(1日につき)	4,400円	5,400円	8,400円
	通院保険金日額(1日につき)	2,800円	3,200円	5,800円
	手術保険金	入院中に受けた手術の場合：入院保険金日額の10倍 それ以外の手術の場合：入院保険金日額の5倍		
	特定感染症による後遺障害保険金、入院保険金、通院保険金 特定感染症による葬祭費用保険金	上記の死亡保険金を除く、後遺障害保険金、入院保険金、通院保険金に同じ 300万円限度		
賠償事故	身体障害・財物損壊共通 人格権侵害	5億円(限度額)		
基本プラン掛金		250円	300円	500円
天災特約付プラン掛金 天災特約付プラン掛け金には、上記基本プラン掛金も含まれています		400円	500円	800円

ボランティア行事保険(ボランティア活動に関わる行事を主催する方のための保険)も取り扱っています。詳しい内容についてはパンフレットを用意しておりますので、ボランティアセンターまでお問合せください。
市民活動ボランティアセンター ☎ (052)401-0031 FAX (052)401-0032

清須市社協は令和3年4月から

ホームページを全面リニューアルしました！

URL <https://kiyosu-shakyo.com>



みなさまに必要な情報が見やすく、使いやすいホームページを目指して、情報提供を行ってまいります。

なお、リニューアルに伴うアドレスの変更はありません。



清須市社協のSNS!!

清須市内の福祉やボランティアの情報を発信しています。
皆様の登録をお待ちしています！



事業の報告や、ボランティアや地域活動の様子、社協登録ボランティアの紹介など…写真付きで幅広い情報を発信しています！



「Facebookを使ってみたけどやり方がわからない…」という方、お手伝いをさせていただきます。社協までお問い合わせください。

福祉活動応援企業広告



トヨタの福祉車両(ウェルキャブ)を実際にさわって体験していただける専門の常設展示場です。専任スタッフがお客様のご要望をお伺いし、クルマ選びのお手伝いをします。

6/1～6/30まで大展示会開催中!

通常より展示台数を増やし、23台のウェルキャブを展示しております。



〒452-0932 愛知県清須市朝日弥生1

※清洲市民センター向かい

営業時間 10時～18時

☎ (052)400-8739

詳細はこちらをご覧ください→



**募集
します
!!**

**「清須市社協だより てとて」に
広告を掲載しませんか?**

清須市社会福祉協議会では、新たな財源を確保し、地域福祉の推進につなげるために、本誌に広告の掲載を行っています。なお、有料広告の募集は、随時受け付けています。

掲載料 ● 1枠5,000円

対象 ● 民間企業、その他事業を営まれる団体又は個人

本年度の掲載号 ● 社協だよりてとて

令和3年10月号、令和4年2月号

募集枠数 ● 1号につき6枠程(記事スペースの調整により前後する場合があります)

配布数 ● 約30,000部(市内全戸配布)

問い合わせ先 ● 清須市社会福祉協議会 総務地域課総務係(担当:水谷)

※詳細は清須市社会福祉協議会ホームページをご覧ください。

<https://kiyosu-shakyo.com/>

西枇杷島地区協議体に参加してみませんか？

西枇杷島地域の地域づくりについて情報交換をしたり、活動者同士のネットワークづくりをしませんか？

地域づくりやボランティアに興味がある方、活動者のネットワークを広げたい方…。

和気あいあいと交流できる場です。お気軽にご参加ください。

日 時 ● 第1回 6月25日(金)
13時30分～15時

第2回 9月15日(水)
13時30分～15時

場 所 ● にしび創造センター ボランティア室

申 込 ● 清須市社会福祉協議会 総務地域課
地域福祉係までご連絡ください。

6月25日開催 ▶▶ 6月11日(金) 締切

9月15日開催 ▶▶ 9月1日(水) 締切

TEL、FAX、Email可。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、事前の体調確認と当日のマスクの着用をお願い致します。

※感染の拡大状況により中止となる場合は、清須市社会福祉協議会 Facebook 等でお知らせします。



きよす家事サポーター養成講座

受講者募集

「きよす家事サポーター」は、資格を持たなくとも高齢者宅を訪問し家事支援を行うことができる生活支援サービスです。

講義DVDを自宅等で視聴後、レポートをご提出いただき、レポート内容を確認後、修了証を発行いたします。

講座を修了された60歳以上(今年60歳になる方を含む)の方は、シルバー人材センターに登録後、きよす家事サポーターとして収入を得て定期的に活動することができます。(後日、シルバー人材センターの登録説明会への参加が必要です。)

DVD貸し出し開始日時 ● 6月1日(火) より随時

開館日・時間は月曜日～土曜日 8時30分～17時15分です。祝日・年末年始はお休みです。

DVDの数に限りがあるため、来所前に申し込みをお願い致します。

DVD貸し出し、レポート提出場所 ● 清須市清洲総合福祉センター(清須市一場古城 604-15)

受講対象 ● 清須市在住で、家事サポーターや地域での支えあいに関心がある方

主 催 ● 清須市

実施主体 ● 清須市社会福祉協議会

講義内容 ● 「清須市における高齢者の現状と制度 家事サポーターについて」

「アクティブ・エイジング(活力ある高齢化を目指す)」

「社会参加と介護予防について」

「なぜ傾聴が必要なの？上手なコミュニケーションのとり方について学ぶ」

「高齢者の家事援助のポイント～ヘルパーの立場から～」等

【申込・問合せ】 清須市社会福祉協議会 総務地域課地域福祉係

(担当：生活支援コーディネーター 佐々木)

☎ (052) 401-0031 FAX (052) 401-0032

✉ chiikifukushi@kiyosu-shakyo.com



あなたの作った募金箱が 地域のお店の募金箱になります!

「赤い羽根共同募金2021募金箱コンテスト」のお知らせ

10月から始まる赤い羽根共同募金について、より関心を持ち、理解を深めていただくことを目的に、手作り募金箱の募集をいたします。

ご応募いただいた作品のうち優秀作品には、図書カードをお贈りします。

また、ご応募いただいた全作品を、9/1(水)～9/20(月)の間、清洲総合福祉センター内にて展示、10/1(金)～11/30(火)の間、赤い羽根共同募金協力店店舗にて募金箱として設置をいたします。

皆様のご応募、お待ちしております。

応募資格

- 清須市内在住の方(一人1点まで)

募集期間

- 7/1(木)～8/31(火)

賞

- 優秀賞:3点
(図書カード500円分)

優秀作品については、SNS等に掲載させていただきます。



応募規定

清須市社会福祉協議会配布の組み立て式募金箱にデコレーションをしたもの、又は下記条件をみたしたオリジナルのもの ※組み立て式募金箱は7/1(木)より社協窓口にて配布(オリジナルの方)

- 大きさは、一辺の長さが20cm以内で形は自由
- お金を入れられるように募金口及び取出口を設けてください。
- 「赤い羽根共同募金」のロゴと赤い羽根の表示をしてください。
- 材料は自由(段ボール、牛乳パック、画用紙、紙粘土など)
- 住所、氏名等は、提出時に記入用紙をお渡しします。

食品配布会開催のご案内(ささえ愛ギフト配布事業)

食料支援を必要としているご家庭に、フードドライブ等を通じて集まった食品を配布します。事前申し込み不要です。

希望される方は、配布期間中に清洲総合福祉センターに受け取りに来てください。

- 対象:清須市在住で食料を必要としている世帯
- 配布期間:7月15日(木)10:00~15:00
9月9日(木)10:00~15:00
※時間内にご都合つかない方は、ご相談ください。
- 配布場所:清須市清洲総合福祉センター

「フードドライブBOX」を設置していただける店舗を募集!

お店に設置しお買い物ついでにご寄付いただいたり、企業内に設置し従業員の皆様にご寄付いただいたりすることで地域における支え合い活動にご協力いただけます。

ご寄付いただいた食料品は、清須市社会福祉協議会で管理を行い、生活困窮世帯等へ提供をいたします。

- 設置開始:6月～
- 設置BOX:当協議会が準備(幟旗など啓発資材もご用意いたします。)
- 受付食料品:インスタント食品、レトルト食品、米、ラーメン、パスタなどの乾物、缶・ペットボトル飲料、缶詰、調味料など賞味期限までに1ヶ月以上余裕があり、常温保存可、未開封のもの。



(冷凍・冷蔵食品、生鮮食品、アルコール類は受付しておりません)

※定期的(月に1度程度)にBOX回収に伺います。
※可能な範囲で柔軟に対応いたしますので、ご相談ください。

ご協力いただける店舗、企業様については、「とて」に掲載させていただきます。

※フードドライブとは、地域の方や企業から無償で食品を受け入れ、食料の支援を必要としている方にお届けすることで、食品ロスの削減と地域福祉の推進を目指す活動です。

食品を寄付いただいた皆様(令和3年1月～4月)

竹内 明彦様
キリンビール(株)名古屋工場様 匿名様

このページの
問合せ

社会福祉法人 清須市社会福祉協議会

住所:清須市一場古城604-15(清洲総合福祉センター内)

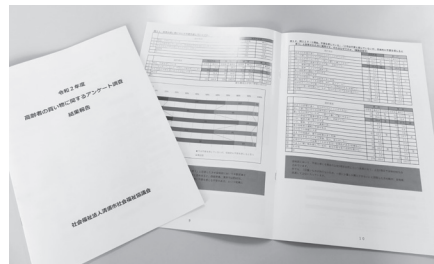
☎(052)401-0031 ☎(052)401-0032 ✉chiikifukushi@kiyosu-shakyo.com

令和 2 年度高齢者の買い物に関するアンケート調査結果報告について

令和 2 年 4 月～ 9 月にかけて実施した「高齢者の買い物に関するアンケート調査」に多くの皆様にご協力いただき、本当にありがとうございました。

回収した 614 枚のアンケートを集計し、結果報告が完成しました。会議等で配布させていただき他に、清洲総合福祉センターにて随時配布しております。

ぜひお手に取ってご覧ください。



アンケート結果の一部をご紹介します。

問 日常の買い物において不便を感じていますか。

現在、不便を感じている……………13.2%
 今は不便を感じていないが、将来的に不便を感じると思う……………54.9%
 今も将来も不便を感じることはないと思う……………28.0%



買い物に不便を感じている方、将来的に不安な方を合わせると 68.1% になり、多くの方が買い物に対して不安を抱えていることがわかりました。

問 「現在、不便を感じている」「今は不便と感じていないが、将来的に不便を感じると思う」と回答された方に質問です。それはなぜですか。

回答数上位 5 項目

- ・店までの距離が遠く、自分の力で行くことができない
- ・歩いて買い物に行くのが体力的にきつい
- ・重いものが持てないため、一度に少量しか購入できない
- ・車や自転車の運転に不安がある
- ・近所のスーパーでは買うことができない日用品がある（衣類など）



特に、「重いものが持てないため、一度に少量しか購入できない」と回答した方が、市全域で多くありました。



映画「星に語りて」無料上映会のお知らせ



東日本大震災下での障害者と支援者の様子を描いた映画「星に語りて」を上映します。

皆さんは、東日本大震災での死者の中で、障害のある人の死亡率が健常者の 2 倍だった事を知っていますか？また、「避難所から障害者が消えた」というのは、何を意味するのでしょうか？

この映画は、当時を知る証言者たちへの綿密な取材に基づいて撮られたドラマです。

あの災害から 10 年が経ちました。私たちはいずれ来る南海トラフ地震に備えなければなりません。今こそ、ほとんど報道されなかった感動の事実を知ってください。

上映会は、バリアフリー（字幕つき、音声ガイド対応あり）で行います。また、重度の障害がある方等と一緒に自由な姿勢で観覧できる部屋（午前、事前予約制）もあります。上映に当たっては、防災ボランティアや福祉関係者が協力し、十分な感染対策を行います。

ぜひお越しいただき、防災や福祉について考えるきっかけにしてください。



- 場所：春日公民館 大ホール
- 定員：300 名（席数の半分）
- 日時：7 月 4 日（日）
開場 12 時 30 分
上映開始 13 時 30 分（終了予定 15 時 45 分）
- 料金：無料（要申込み）
- 主催：清須市中心身障害者福祉協会
- 申込：田中 ☎ 090-9121-5631
（ショートメール可）
✉ atumarekai@gmail.com
- 託児：定員 10 名 6/18 までに予約
- 予告編：QR コードをクリック！→



きよす障害者 就労継続支援 センター飛鳥 作業紹介



あま市にある株式会社コーワさんからいただいている飛鳥の仕事を紹介します。

創業はとても古く1935年（昭和10年）で、当初から刷毛（ハケ）や刷子（ブラシ）の製造を行っていたそうです。飛鳥で作業しているのは刷毛の部品の毛の重さをはかるお仕事や塗装用のローラーの袋詰めのお仕事です。

社員の方はとても気さくでやさしいので、利用者のみなさんもたくさんの商品が納品できるようにとても頑張っています。

きよす障害者就労継続支援
センター飛鳥
問合せ ☎ (052)408-0027

川柳紹介

2月号で募集した読者の皆様からの一句をご紹介します！

今回のテーマは「防災・減災」。大切な命を守るために、日頃から意識を高めていきたいと思います。

（各句の募集・テーマの詳細は16ページへ！）

声かけで 繋がってるよ いつだって

棚橋 由美子

もう一度 確かめてから 出掛けよう

村松 八重子

まだ10年 防災・減災 道なかば

高橋 傳

時は進む 中身も変わる

避難袋

八ちゃん（ペンネーム）



教えてください！あなたの地域貢献活動

子どもたちの集いの場、助け合いの場づくりを目指して。

夏休みのラジオ体操もなくって子どもたちが集まる機会も減って残念だね…。そんな声を聞き、私たちにもラジオ体操ならできないのではないかとというのがボランティア活動を始めたきっかけです。星の宮子どもプロジェクトの活動目的は、子どもたちの心に残るイベントや体験をさせてあげること。コロナ禍の今、こうした状況だからこそ、全てを中止にするのではなく、予防を徹底した上で子どもたちが楽しめる企画を考えています。昨年は朝日遺跡見学会を行い、今後ダンス体験も実施予定です。

また、コロナ禍により貧困・フードロスへの思いが生まれ、フードパントリーの活動を始めました。継続的な支援をテーマにしており、登録制度にすることで物資を通して毎月顔を合わせる機会を設け、みんなの支えになれたらと考えています。「仕事が決まったので次回は必要ないよ」とご卒業される方もでてこられ、経過が見える喜びも活動のやりがいです。今後も子育て世代など、人と人がつながる場、お互い助け合える場づくりを目指していきたいと思っています。



星の宮子どもプロジェクト
代表 浅妻 奈々子さん



フードパントリー

毎月第2日曜

10時30分～正午

阿原公民館にて開催

心も体も健やかに。食を通じて親子を見守る

東海豪雨の水害で自宅が被災した時に、ボランティアの方に清掃を手伝っていただきました。汚れたテレフォンのカードを綺麗にふいて「これ、まだ使えますね」と細かいところまで気づいてくださる方がいて、人のためにここまでしていただけるんだ、という感謝の気持ちが今の私の原点です。

現在の活動のきっかけとなったのは、2年前から参加している隣の食ベ物支援のボランティア。こうした支援が清須市にもあったらいいなという思いが芽生え、「にしび子ども食堂」を立ち上げました。最初は、この状況の中「人が何に不安を感じているのか？」と考え、それについての自分なりの答えが、シンプルに『ご飯が食べられない』でした。それなら物資を循環させ、食事を提供すれば少しは解消されると思いスタートしました。しかし、活動を通して食事だけではない心のケアの必要性に気づかされ、親子のメンタルサポートも含めた活動もしていきたいと考えています。私の活動目的である「に人間 し…幸せ び…ビジョン（未来創造）」を実行できるようにボランティア活動に取り組んでいき、人と人がつながる安心感をお届けできたら幸いです。



にしび子ども食堂
代表 高松 里名さん

フードパントリー

毎月原則第4日曜

10時～11時30分

サンコート集会所付近にて開催

あなたの声をお寄せください

「てとて」のご意見や感想、とりあげて欲しいテーマや、福祉に対する疑問など、皆さまからのお便りを募集しています。ページ下部連絡先までお寄せください。お寄せいただいたお便りは編集室で選考させていただきます。掲載いたします。お便り掲載は氏名、もしくはペンネームとさせていただきます。掲載を希望されない方はその旨をお書きください。

寄附の紹介

株式会社セブンイレブンジャパン様
 ……食品 26 箱、雑貨 11 箱
 令和 3 年 3 月 31 日現在



個人情報保護について

本会は、個人の人格尊重の理念をもとに、関係法令等を遵守し、実施するあらゆる事業において、個人情報を慎重に取り扱います。個人情報の取り扱いについては、ご利用の介護サービス担当者、及び各事業担当者等にお申し出ください。



編集委員 津坂

川柳を募集します!

テーマは「コロナ禍で前向きに暮らすための工夫」

あなたの一句を待っています!

※次号以降、本誌において掲載予定です。
 ※応募の際は氏名・ご連絡先をご記載いただき、ページ下部連絡先まで応募ください。
 ※多数応募いただいた場合抽選で掲載いたします。
 ※団体でも個人でもかまいません。
 ※ペンネームでもかまいません。

川柳締切 6月15日(火)

西春日井地域「福祉の店」

西春日井地域にある7つの障害者施設の手作り製品を合同で販売しています。さよす障害者就労継続支援センター飛鳥で作製している手芸品も販売しています。ぜひ、一度お越しください。

また、さよす障害者就労継続支援センター飛鳥で作製している手芸品は、清洲総合福祉センターにおいても販売しております。

日時 8月18日(水)〜23日(月)
 9月22日(水)〜27日(月)
 ※6月・7月はコロナウイルス感染拡大防止の為、中止になります。8月以降も変更になることがあります。

会場 アピタ名古屋港店3階
 さよす飛鳥、セルフしがつ、にしはるひまわり作業所、あかつき共同作業所、豊山町福祉作業所、七彩工房、尾張中部福祉の杜

問合せ 尾張中部福祉の杜
 ☎(0526)22-1123 担当 鈴木

市民のくらし 法律相談

無料 要予約 ☎(052)401-0031

会場 清洲総合福祉センター **対象** 清須市在住の方(一人年2回まで)
 ※会社等の営利目的としたご相談は、ご遠慮いただいております。

時間 13時〜16時(一人30分以内)

日程	6月	7月	8月	9月
第1回	8日(火)	13日(火)	10日(火)	8日(水)
第2回	9日(水)	14日(水)	11日(水)	14日(火)

弁護士による無料法律相談を実施します。

ケアプランセンター清須 職員募集

採用開始日	随時
勤務時間	8:30~17:15のうち6時間程度 ※曜日時間とも応相談、社保完備
時給	1,300円
募集人数	1名
資格	介護支援専門員
業務内容	ケアマネジャー
問合せ先	担当 葛谷 ☎(052) 408-3827

ヘルプステーション清須 職員募集

採用開始日	随時
勤務時間	サービス提供時間(月)~(土) 8時~18時 ※曜日時間とも応相談
時給	1,270円
募集人数	若干名
資格	ホームヘルパー2級以上
業務内容	登録ヘルパー
問合せ先	担当 高橋 ☎(052) 409-3298

編集委員のつぶやき

私たちの生活は、新型コロナウイルスにより大きく変化しました。マスクやフェイスシールドの着用・十分なソーシャルディスタンスの確保・アクリル板の設置等、ニューノーマルの生活様式が定着しました。社会福祉現場も、活動の中止・延期・自粛を余儀なくされています。そんな中、改めて重要とおもふことは、人と人との「つながり」です。電話や手紙やオンライン等での交流を通して、その「つながり」を感じていたいものです。一人で悩まず、一人で困らず、人と人が気づき合う心を大切に、多種多様な「挑戦」「創意工夫」を共有しようではありませんか。「てとて」も情報発信が使命だと再認識いたしました。皆様のご意見・ご要望・情報をお待ちしております。